

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京都大和の家	施設種別	乳児院 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成20年2月25日

総 評

京都府相楽郡精華町にある乳児院で、児童福祉に対する熱い思いを込めて平成16年に設立され、児童養護施設が併設されています。広大な敷地に赤い屋根、白い壁、カリオンの鳴る尖塔を配し、南欧を思わせる瀟洒（しょうしゃ）な佇まいを見せています。室内も採光が良くて明るく、床暖付きのクッションフロア一張り、ゆとりを感じさせます。環境への対応から、太陽光発電にも取り組んでおり、安全対策も配慮されています。

保育は子どもを縦割り、横割りのグループに分けて行っています。大まかにはベッド（寝室）、食事、遊びの3つのコーナーに区切られていて、スペース的には余裕のある構成になっており、食堂と遊びとの間は仕切られています。体調の悪い乳児には、専用のベッドを準備して対応しています。家族との面会のための支援ルームもあり、2Fには相談室及び1DKのマンションタイプの間取りのサポートルームも設けられており、育児支援など家庭復帰の一助となる取組みも行われています。各スタッフには“人間関係能力、問題解決能力を含めた組織能力”を高めることが求められています。

0, 1, 2歳児が中心で、乳児への保育指導計画に配慮がなされ、年齢に即した活動の提供、ケアが行われています。子どもの権利を尊重した養育実践のため、乳児の「権利擁護」についての研修や、より高い専門性を標準化するための学習のほか、専門能力についての研修も充実させてください。

施設の多目的ホールは地域の方々に開放し、音楽コンサートなども開催し、隣接の高齢者施設の方々も招待し、地域の奉仕活動にも施設長や職員が必ず参加することで、地元の方々からも理解が得られています。今後も引き続きさまざまな創意と工夫を結集させて地域との交流を推し進めてください。たとえば施設で子育てについての、専門的な技術・知識を生かした地域での子育て支援や虐待防止および虐待対応に関する講習会の開催などもご検討ください。

今回は初めての開設3年目での第三者評価ということで、未整備な部分も見受けられましたが、今後の若いスタッフの情熱及び努力により、その成長と充実が期待できます。少子高齢化とともに、育児困難家庭が増えつつある昨今にあって京都府南部における乳児福祉の拠点としてよりいっそう貢献されたいように願います。

<p>特に良かった点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職員一同の子どもに対する愛情を強く感じました。子どもたちがとても落ち着いていて、スタッフとの良好な関係ができています。 ●児童相談所、地元の自治体などとの連携がしっかりとれています。また地域の方々との交流も、積極的に行われています。 ●施設長は高い信念にもとづいたリーダーシップのもと乳児院院長とも協同して、「乳幼児と職員との信頼関係が第一」という確固たる信念にもとづき、職員をリードしています。施設長のこれまでの経験に基づく強いリーダーシップには敬意を表します。
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の事業の要となる中・長期計画の策定が望まれます。また中堅・中核となる主任やリーダーの育成が望まれます。 ●より高いサービスを目指すためにも、職員の資質の向上のためにも、人材のスキルアップにつながる研修計画等の体制作りについてご検討ください。 ●利用者個別のケースファイルについて、ファイリングを整理し、P D C Aサイクルを考慮した時系列でのファイリングが望まれます。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	京都大和の家
施設種別	乳児院
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	2008年2月25日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	B
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	C	C
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C	C
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	C	B
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

[自由記述欄]

I-1-(1)①開設4年目ということで、今後、必要に応じ理念の見直しもご検討ください。
 I-2-(1)①②今後の事業運営の要となるものですから、中長期計画の策定が求められます。
 I-2-(2)①事業計画の策定にあたっては、幅広い意見を募るとも、随時の見直しもご検討ください。中長期計画の作成が求められます。
 I-3-(1)②遵守すべき法令等のリスト化もご検討ください。
 I-3-(2)①②管理者は業務の遂行にリーダーシップを発揮し、組織を取りまとめ、スタッフの業務の効率化に取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	B	B
		③ 外部監査が実施されている。	C	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	C
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	B	

【自由記述欄】

II-1-(1)①地元自治体からの情報及び研修等で経営についての情報を把握されています。
 II-1-(1)③税理士による監査が実施されています。
 II-2-(1)①施設長は、人材管理についてのプランを立案されています。
 II-2-(1)②人事考課を行って、適正な人材管理をされています。
 II-2-(2)①管理者は職員の就業状況を把握し、適切に対応されています。
 II-2-(2)②法人で加入の福利厚生制度を活用されています。
 II-2-(3)①法人としての職員に対する研修の基本姿勢を明示することが求められます。
 II-2-(3)③職員の研修後も、適宜評価、見直しを行い以後の研修に活かされています。
 II-2-(4)①②実習生の受け入れに対しては、施設としてできる限りの準備をされています。
 II-3-(1)①管理者は、リスクマネジメントに対して細心の注意のもと、業務にあたっています。
 II-3-(1)②安全対策のためのチェックリストの作成が望まれます。
 II-4-(1)①～③地域の方々、地元自治体との関係を重要視されており、地域とともに歩む姿勢が感じられます。
 II-4-(2)①②関係機関とも定期的に連携を取って、児童福祉の向上に努めています。
 II-4-(3)①地域とのつながりを大切にし、地域の福祉ニーズにも適切に対応しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	B	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	B	
	Ⅲ-1-1(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	C	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-1(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的な評価を行う体制を整備している。	B	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-1(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	C	C	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	A	
Ⅲ-2-1(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-1(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-1(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

【自由記述欄】

Ⅲ-1-1(1)①「ファミリーケースワーカーの業務」など研修に積極的に参加されています。
Ⅲ-1-1(1)② マニュアルが揃っていませんが、児童相談所との連絡や権利ノートなどプライバシー保護に配慮されています。
Ⅲ-1-1(2)② サポートルームと称されるワンルームマンションをイメージできる居住空間があって、家庭復帰に取り組んでおられる意欲が窺えます。
Ⅲ-1-1(3)① 利用者(保護者)が話しやすい面会室があり、興奮した保護者の突然の来園にも、担当者を決められて、落ち着いて対応ができるよう配慮されています。
Ⅲ-1-1(3)② 施設の性質上、苦情は児童相談所側が処理されるようですが、苦情解決の体制は整備されています。
Ⅲ-2-1(1)① 自己評価に関しては、利用者(保護者)参加は施設の性格上不可能ですが、本年度第三者評価を受診していただき前向きです。
Ⅲ-2-1(1)③ サービスの質の確保のためにも、今後の改善策等をご検討ください。
Ⅲ-2-1(3)① 利用者の成育歴やサービス実施記録が綿密に記録されています。
Ⅲ-2-1(3)② 利用者の記録の情報開示を求められた場合の規程がありませんでしたのでB評価になりました。
Ⅲ-2-1(3)③ 職員間での情報の共有は定期的な職員会議やグループ会議で把握されています。
Ⅲ-3-1(1)① サービス選択に必要な情報の提供という項目は施設の性格上むずかしい点が多々ある中で、DVDを作成されたり独自の方法をもっておられます。
Ⅲ-3-1(2)② 施設紹介、説明と共にサポートルーム、プレールームなどを見学したり、ワンフロアでの乳幼児の落ち着いた子供らしい仕草を見学することによって保護者の不安を取り除くように努力されています。また緊急一時保護の準備態勢もあります。
Ⅲ-3-1(2)① 家庭への移行に対して、サポートルームを活用して職員の見守りのもとに、保護者と乳幼児が自然な親子の関係を築いていけるように準備されています。
Ⅲ-4-1(2)② 児童相談所のしほりがある中で積極的な書面作りに対し努力されています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート

乳児院

受診施設名	京都大和の家
施設種別	乳児院
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	2008年2月25日

【付加基準】乳児院版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 日常生活支援 サービス	(1) 援助の基本	① 乳幼児と愛着関係を築くように努めている	B	A
		(2) 健康管理	① 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している	B
	(2) 健康管理	② 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている	B	A
		③ 乳幼児突然死症候群(SIDS)や窒息の予防策を講じている	B	B
		(3) 睡眠環境等	① 乳幼児が十分な睡眠をとれるように工夫している	B
	(3) 睡眠環境等	② 快適な睡眠環境を整えるように工夫している	B	A
		③ 気候や場面、発達に応じた適切な衣類管理を行なっている	A	A
		④ 快適な入浴・沐浴ができるようにしている	A	A
		(4) 食事	① 乳幼児に対して適切な授乳を行なっている	A
	(4) 食事	② 離乳食を進めるに際しては十分な配慮をしている	A	A
		③ 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している	B	A
		④ 栄養管理に十分な注意が払われている	B	A
		(5) 発達段階に応じた支援	① 幼児が排泄への意欲を持てるように工夫している	A
	(5) 発達段階に応じた支援	② 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している	B	A
		(6) 家族とのつながり	① 児童相談所等と連携し、乳幼児と家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりができています	B
	(6) 家族とのつながり	② 保護者と子の愛着関係、養育意欲の形成を援助するように努力している	A	A
		③ 乳幼児と保護者に必要な心理的支援を行なっている	B	B

【自由記述欄】

A-1(1)①担当制をとっており、愛着関係を築くよう意欲的にかかわり、児に対する深い愛情をもって接しておられます。このことは児の表情や、笑顔、しぐさを感じ取られました。児の泣き声も聞かれましたが、激しい表情はなく児もおちついており、子どもと職員の信頼関係がうまくとれている印象を強く感じとれました。

A-1(2)①睡眠支援月齢や年齢、発達に応じて、部屋を選択したり、添い寝など努力されているのでA判定としました。睡眠時に記録をしっかりとられることを期待します。

A-1(2)②就寝する部屋は年齢、月齢によって分けられているが、発達や児の様子で部屋を変更して、環境を整える工夫をされているので、A判定としました。

A-1(2)④ありきたりのおもちゃではなく、使用済みのプラスチックのコップをおもちゃとして活用されていました。身近な物が子どもにとって楽しいおもちゃになるという配慮をされています。

- A-1(4)②咀嚼力をつけるため、おやつにこんぶ、めざしなど配慮されています。
- A-1(4)③食事は、職員も同じ献立で食事の楽しさを共有し内容の確認がされていました。テーブルや椅子の調整は3段階の調整が可能であり、不自然印象はありませんでした。また、併設施設と共同して調理されますので、嗜好調査が難しいようですが、調理師との会議で意見交換をされていることで、A判定としました。今後児の立場で、嗜好が反映されるよう努力されることを期待します。
- A-1(4)④残飯量などを把握し、会議で意見の提示をされているのでA判定としました。今後、献立に反映されるよう努力してください。
- A-1(5)①日中は布おむつを使用し、排泄の自立にむけて努力されています。洗濯も職員がされています。
- A-1(5)②玩具の色や形の選択について不十分と感じておられますが、ある玩具で配慮されているので、A判定としました。
- 楽しい遊びの工夫は、縦割りや横割りのグループをつくり、発達年齢の異なる児のなかで、様々な楽しみや遊びを経験しています。
- A-1(6)①②児童相談所からの措置入所が多いことから、会議などで、意見の提示をしているにも関わらず、自主的に関与していないという思いを持っているとの印象を受けましたので、A判定としました。今後は、児童相談所からの措置に促されることなく、児の権利や幸せのために京都大和の家として、どうあるべきかという方針により関わっていかれることを期待します。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 利用者の尊重	(1)乳幼児の権利擁護	① 体罰が行なわれないよう徹底されている		C
		② 乳幼児に対する暴力、言葉による脅かし等の不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる	B	B

【自由記述欄】

A-2(1)①②当然無いことであるという認識で職務についておられることは十分に伝わってきますが、「慣れ」のなかで、見過ごされやすくなる危険性がありますので、日々体罰や虐待、職員による言葉の暴力など、自己点検やお互いに点検し合える体制作りに向けて、努力されることを期待します。